

轉てん 教ぎょう

2018 **6** June

平成 30 年 6 月 1 日発行
第 19 卷第 6 号 通算 220 号
編集兼発行人 山本 久男
発行所 宗教法人 佛立本旨講 妙應寺
〒 113-0021
東京都文京区本駒込 6 - 6-11
☎ 03-5319-3490
FAX 03-5319-3491



(Web 版)

信のとびら

回向とは

水谷随歎

「回向えこう」という言葉の意味を、亡くなった方に対する追善の弔いだけだと思っている方はいませんか？

人が亡くなると塔婆をたててご回向してあげましょう、と聞いたこと

があると思います。でも「回向」とはそれだけの意味ではありません。

仏教諸宗の中には、死者追善の回向をする事だけが功德の深い行為だと説いているものもあります。し

かし、御祖師様の教えには、死者追善だけが回向だとはおおせになつていません。

妙講一座に、「願くは受持口唱し奉る、本地本法の功力を以て、法界ほうかい群靈ぐんれい離苦りく得益とく仏果ぶつ菩提ぼだい。門流持経者もんりゅうぢけいしやの面々めんめん・・・当病平癒、病即消滅。一天四海皆帰妙法」という御文があります。「全てのものを回向し苦しみを取り除けるようにと祈願し、皆が妙法に縁がつきますように」という意味です。

「回向」の「回」はまわし巡らす、

「向」はおもむきむかう、という意味で、「此方のものを回して向こうへやる」ということです。「大智度論だいちどろん」という御文には、「回向とは声を回して角つのに入ルルが如し」と説かれています。つまり、地声じごえでは遠くに届かないけれど法螺貝ほらがいに吹き入れると遠方に響き渡るといいうのです。自分の利益のためだけに願うのは功德が小さく、人の幸せを願うことは法螺貝に声を吹き入れるように功德の響きが大きいというわけです。すなわち、自分の願いよりも

亡くなった方の追善回向を、と口唱すれば功德は大きくなるのです。

また、他の信者の信心増進のためや、病気の方の快癒のために祈願するなど、お助行や折伏をすることも功德の深い回向の行です。さらに、教化誓願をたててご弘通に努力するご奉公は、より一層大きな功德を頂ける回向行となります。

普段、皆さんが朝のお看経後にしているお寺での詰め助行も回向行です。

助行、折伏、弘通といったご奉公

による回向行にいつそう力を入れ、大きな功德を積むことが大切です。そして、このような大きい功德を積むことの出来るご奉公を後世に伝えることです。若い世代の方々にも人の為にご奉公することがいかに大切なことかを伝え残しましょう。それが、私たち佛立本旨講の発展に繋がってゆきます。

もし、死者追善の回向だけがご利益の道と思っっている方がいたら、その考えの違いを教え、回向の本義を伝えてあげましょう。

6月のご奉公のすすめ

昨年より、7月だった開導会を6月に奉修させて頂くようになりました。家族班内隔々までお寺参詣の喜びを話し、この機会に一人でも多くの人がお寺に近づけるようご奉公させて頂きましょう。

一、随喜轉教について

仏は「因果の道理」を説かれました。「善い種まきをすれば幸いがやってくる、悪い種まきなら苦がやってくる」という道理です。病や人間関係等の悩みで苦しんでいる他人の幸せを願って祈願を書く菩薩行の喜び

を、若い人達にも積極的に話しましょう。

二、開導会

- ・「開講本旨再興祈願」朝参詣週間 1日(金)～7日(木)
- ・「開講本旨再興祈願」口唱会 3日(日)午前9時半

開導会は6月17日(日)に奉修されます。奉修座割りは下記予定表でご確認ください。

お会式は全信徒が願主となつて奉修する報恩感謝の式典。皆で参詣させて頂きましょう。奉修費・お花料・御供米料の奉納は寺務所に、参詣予定者数の申

6月の寺内行事予定表

1日(金)	開講本旨再興祈願総講	午前10時
1日(金)	朝参詣週間	
1日(金)～7日(日)	開講本旨再興祈願	
2日(土)	運営会議	午前9時半
3日(日)	開講本旨再興祈願口唱会	午前9時半
5日(火)	開導会、奉修費・お花料・御供米料の奉納、参詣予定者数申込締切	
9日(土)	連合幹事会	午前9時半
13日(水)	高祖大士御命日総講	午前10時半
16日(土)	開導会全体会議・準備	午前10時半

し込みは受持ち講師に、6月5日までに済ませて下さい。

6月23日(土)午前9時半

五、七月の行事予告

・夏期参詣

6月24日(日)は聞泉寺開導会の団参です。参詣当番は第三地区です。同志寺院のご弘通の応援となる大切なご奉公です。大勢で参詣させて頂きましよう。

7月1日(日)から7月31日(火)までです。本年度のご奉公のテーマはお参詣です。今月の内から目標を決め、将引計画を立てて臨みましょう。

・夏季錬成会

各地区で次世代の方々が参加しようと思える計画を立ててすすめてください。

・夏季総回向

7月22日(日)に奉修されます。班内家族皆が先祖への感謝の気持ちが高まるよう丁寧に向の大事を伝えましょう。

三、三島聞泉寺団参

6月24日(日)は聞泉寺開導会の団参です。参詣当番は第三地区です。同志寺院のご弘通の応援となる大切なご奉公です。大勢で参詣させて頂きましよう。

四、信徒講習会

平成30年度、第一回信徒講習会を左記の日程で開催します。テーマは「ご信心を伝えるQ&A」と「百日参詣体操」です。ぜひ受講しましょう。

6月10日(日) 午前9時半
6月12日(火) 午前9時半

17日(日)

ご奉公 午前9時半
開導会
第一座 午前10時

第一地区、第二地区
(目黒世田谷・品川連合)

特別地区、妙証会

第二座 午前11時半

第三地区、第二地区

(かながわ・多摩連合)

特別地区、妙証会

24日(日)

団参・聞泉寺(三島)
開導会 担当第三地区

25日(月)

門祖聖人御命日総講
午前10時半

正副教区長会

午後12時半

一地区…2階ホール

二地区…1階ホール

三地区…和室

日尚上人祥月御命日法要での奉告

快晴の六角堂日尚上人御靈廟ごれいびやうにおいて、日在導師より、平成二十九年度妙應寺ご奉公の概要がいようが奉告されました。以下抄録。

●①●●

昨年4月22日、23日の両日には、日尚上人祥月御命日法要にあわせて本駒込新本堂開筵式かえんしきを



奉修し、引きつづき東京湾クルーズ船上で祝賀会を開催させていただきました。

四百六十八名という多数の参詣を得て盛大に開筵式が奉修出来たことは教講一同の大きな喜びであり、新本堂建立を如何に待ち望んでいたかという皆の気持ちの表われであったと存じます。

●●②●●

平成10年10月の宗門離脱から始まった苦難の日々も、この新本堂開筵式をもって一応の形が整ったと申せましょう。顧みればこの問題は、三十数年前にさ

かのぼる昭和60年頃のバブル景気に乗じて、宗務本庁内で基本財産積立金流用による株式投資が秘ひそかに行われていたことが発端でした。時間の経過とともに事件そのものは風化しますが、事件の発覚を恐れるあまり時の総導師第二十世講有日尚上人を解任した行為は「人法一箇」というを忘れて人を捨つるのことに明らかに反する謗法であり、時間が経つても拭い去ることとは出来ない『地獄の業』と言わねばなりません。「法は一人で広まらず」といわれるように、妙法五字とそれを伝える御導師は一体不二で、人を謗れば法を

謗るになります。宗門あげて謗法行為を容認した本門仏立宗は、もはや自浄能力の欠如した開導聖人開講本旨に反する集団となりました。



一昨年あらたに宗教法人の認証を得て、念願の新本堂も完成させた佛立本旨講妙應寺は、開導聖人の常講歎読滅罪抄にもとづき、高祖さまが御題目、御題目が高祖さま、一つにして二つにまします、という「人法一箇」の御指南を遵守して妙法口唱の信仰が再び謗法に墮することの無いよう精進させていただきま

す。
また、本年度は「参詣」を中

心テーマにすえてお寺参詣、御講参詣への将引に力を入れ、よ

お誓いします。我ら末弟の微意を御照覧くださり一層の御冥加を賜らんことを請い願ひ奉告とさせていただきます。

平成三十年四月二十二日

佛立本旨講妙應寺住職 日在

合 掌

本堂では「日尚上人物語」を上映

いに引き継ぎ、佛立本旨講の名に恥じない御奉公に励むことを

平成22年、れんげまつりで上

演された人形劇

「日尚上人物語

(轉教4月号)」

をリメイクした

ビデオを鑑賞し

ました。この中

で、台本に加筆

されたのは、「公金の流用などは改めればいいのですが、講有を辞めさせる行為は、人法一箇を破る謗法です」と言う点。

スマホを使って、このQR

コードでご覧いた

だけます。ご家族

にもお勧め下さい。



奉告式にあたって

評議員会議長 五十嵐孝雄



私は日尚上人と直接お話をさせて頂いた機会はあまりなかったのですが、甲御講のお迎えのご奉公や、自宅での甲御講をお受けした時など、いろいろなとお話をさせていただきました。私はその時の日尚上人の穏やかな笑顔が忘れられない思い出として残っています。

お話は仕事についてのことや、ご奉公がなかなかできないこと、その他もろもろのことの話をさせていただきました。お話をしているときに、お笑いになる笑顔と共に、その時いた

いた御教導が今も残っていると思います。ですから、5度の大病を乗り越えられて、ご奉公に励むことが出来ていると思います。

これからは日尚上人の御教導を守り、ご弘通ご奉公に励んでいきたいと思えます。そして、本日ご参詣の皆様も日尚上人よりの御教導をいただいていると思います。今一度、報恩の気持ちを起こしていただいて、ご弘通の御奉公に励んでいただきたいと思えます。

平成30年4月の寺内行事報告

1日～7日 「開講本旨再興祈願 朝参詣週間」

1日(日) 開講本旨再興祈願
総講を午前10時半から奉修
地区・連合・教区・事務局
辞令伝達式並びに平成30年
度ご奉公の誓いを併修

// 評議員会(正・副議長選挙)
午後12時半より開催

2日(月) 開講本旨再興日尚
上人祥月御命日法要奉修費
奉納・御塔婆・参詣人数申
込締切

7日(土) 運営会議を午前9
時半より開催

13日(金) 高祖大士御命日総
講を午前10時半より奉修

14日(土) 連合幹事会を午前
9時半より開催



文化花咲く妙應寺

朝参詣、お総講のあとのひと時を楽ししく！

4月にスタートした文化会。

刺繍教室は、素敵なポケット

ティッシュカバーができあがり

ました。

スマホ教室では、メールとラ

インの使い方、面白アプリの紹

介を行いました。

文化サロンは、コーヒーをい

ただきながら、朝顔の折り紙な

どをしながら、気

楽な交流のひとつ

でした。



4月13日刺繍教室でティッシュ入れ制作



4月20日スマホ教室でラインとは？



4月23日文化サロンでは折り箱作り

【6月の予定】

文化サロン 11日(月)「茶話会」、「歌声喫茶」
刺繍教室 14日(木)「1,2回目の追加、復習」
スマホ教室 19日(火)「メールと地図アプリ」

// 後続者育成連絡会を午前10時半より開催

15日(日) 開導会奉修本部会
議を午前10時半より開催

17日(火) 開導聖人御命日総
講を午前10時半より奉修

21日(土) 開講本旨再興日尚
上人祥月御命日法要・準備

22日(日) 開講本旨再興日尚
上人祥月御命日法要を午前
10時より奉修

// 奉告式を午後1時より奉修
(六角堂)

25日(水) 門祖聖人御命日総
講を午前10時半より奉修

// 正副教区長会を午後12時半
より開催

29日(日) 立教開宗記念五時間
口唱開を午前9時半より奉修

開導会・夏期参詣へ家族揃って

開導会が6月17日(日)に奉修されます。

江戸時代末期、法華宗から離れて佛立講を開講された日扇聖人ですが、様々なご苦勞を伴ったご弘通活動でした。

その中で起きた「内紛事件」。この事態を憂慮された日扇聖人は、常講歎読滅罪抄という私たちにとってとても大切な御指南をしたためて下さいました。

今年の開導会では、常講歎読滅罪抄について、誕生の経緯から内容まで、短時間ですが、分かり易いビデオで上映予定です。



夏期参詣将引の「お願い事」を書いた
朝顔を壁一面に咲かせましょう

常講歎読滅罪抄の中の「人法一箇」^{にんぽういつか}については、今号の「轉教」の中でも各処で触れられていますが、是非、この機会に、その歴史と意義を再認識

させて頂いたくださいよう。

また、家庭内での参詣将引のために、これまで上映したビデオをご活用下さい。スマホで下記HPをご覧ください。



7/1①〜31④の夏期参詣期間中、壁一面お願い事を記した朝顔を一杯張り出します。

折り紙で朝顔づくりは簡単。苦手という方には、文化サロンで作った完成品もあります。

特別教区の皆さんには、折り方説明書と一緒に千代紙をお送りしました。

5月中旬から張り出します。

参詣將引 コーナー

一心欲見仏 不自惜身命
(法華經寿量品)

根上住持師

昔、あるご信者から聞いたお話を話です。

教化を受けてご信心をさせて頂いてましたが、御利益を頂いたりお罰を頂いたりして、ご信心は離れられないものになっていました。しかし、物事が順調に行って油断したのか、御看経が上がらなくなってしまうました。そんな時、主人が体を悪く



し、長男は非行に走り、娘は家に帰って来なくなってしまうたのです。

そこでハツと気づき、信心改良を誓い、千日参詣を志しました。仕事をしながらの参詣で、真夜中の参詣もありました(當時は、本堂の裏口が開いており夜でも本堂にお参り出来たのです)。なりふり構わず必死のお

参詣で、それを見たある教務さんから、どうした、鬼のような顔をしているぞ、とも言われました。それほど必死に参詣したのです。其頃の心境を言っと、

ぐらぐら煮えたぎる油の中に、えびのしつぽをギュッと突っ込まれる、そんな状況だったとのことです。

しかし、千日近くなると、段々と家庭の環境も変わって、主人も健康を回復し、長男も非行から脱し、娘も家庭に戻ってくるようになりました。本当に辛かったが、千日参詣をさせて頂いてお計らいを頂きましたと語ってくれました。

極楽百年の修行は、穢土一日の功に及ばずといいますが、辛中苦しい中を努めるからこそ、功德が積まれ、御利益も現れる。仏様はそんな私たちを見ているのかもしれない。

■私のよろこび

お役をいただいて

大井大森教区 Wさん

今年の日曜日に甲御講のお席をいただき、大勢のお参詣ありがとうございました。お引越しがとうございます。お引越しを控えてお忙しい中、Tさんご家族や甲御講初参詣のNさんにもお参詣いただきありがとうございます。今年も母が元気で、兄弟たち、主人や子供たちもいてくれてとても嬉しく心強くおもっております。

さて、私は、5人の兄弟の末子で、上の兄たちとは、一周り離れていますので、幼い頃、よく兄や姉におぶわれたり、抱かれたりした事をおもいだします。そんな私は大人しく、引つ込み思案で、学校でも手を上げたり、班長でも、部活でも、長

と名の付く役目は一切避けて通り、なるべく目立たない様にしてきました。

ところが、自分の子供が幼稚園や学校に入るとPTAや子供会の役員が回ってきます。委員長の決めの日などは、恥ずかしながら御宝前に手を合わせて「どうか長になりませんように」とお願いして出かけると必ず、長になってしまいます。その時、ご法様から、あなたは今までい

■私のよろこび

もう感謝しかありません

都教区 Sさん

昨年十一月に自宅で甲御講を受けたばかりでしたので、今回

ろんなことに逃げてきましたね。あなたには、そういう部分が足りないのです。少し勉強しなさい。と言う事だなど思いました。ですから、2年前、教区長のお話をいただいた時、これは逃げてはいけないうのかなと思えました。Yさんはじめ、教区連合の方々に優しく見守られ助けていただきました。本当にありがとうございます。

まだまだ未熟ですが目の前の問題に一つ一つぶつかりながら、当たつてくだけの精神で、人としても成長していけたらと思っております。

ました。

また、今日は偶然にも私の母の祥月命日で、さらに二十七回忌にあたり、母もさぞ喜んでいたのでと思います。

二年前の不整脈の発作で、仕事は無理、生活のことを思う

と不安でいっぱいになりました

が、家内から御宝前にお任せするしかないでしょうと言われ、お看経をあげました。

そして、お計らいをいただき、また、皆さんと一緒にご奉公をさせていただくことがで

き、会社も私の体を考慮して、

仕事が続けられるようにしてくれました。本当にありがたくて感謝しかありません。

これからもお役に立てるようにご奉公に頑張りたいと思います。

後続者育成活動報告

親子三代でよろこびの信心

品川教区 Kさん

今回は、品川連合品川教区のTさん宅で後続者育成助行を開催させて頂きました。

参詣者も二十三名の大勢の信者さんが参加してくれました。Tさん一家は長男(Kさん家族)と二世帯同居ですが、親任せ、子供任せにせず、それぞれが仕

事と信心を両立されています。品川連合品川教区の仲間達と、これが最後のお助行ご奉公になると思います。

Tさん一家は三月二十三日に茨城に引越し、水戸教区に移籍いたします。

大変、お忙しい中、こころよ

くお助行を受けて頂きました。家族全員でご宝前のお給仕をして、お寺参詣やそれぞれの役務ご奉公をやり繰りしています。正に、お手本のような信者さんファミリーです。

どこの教区に行かれても、お寺の御弘通ご奉公に精進されることでしょう。今後の活躍を楽しみにしています。皆で無事転宅、交通安全を御祈願させて頂きました。



本堂



日在導師



和室



水谷随歡副住職

日尚上人祥月御命日法要嚴修



↑お利益談 Hさん (品川)

↓六角堂



↓五十嵐評議員会議長

山本局長↑



★こどもたちの会★

「お看経でご利益も！」



